



2025年12月9日掲載

AI・半導体関連のリスク

今年秋ごろから人工知能(AI)・半導体業界の成長期待が高まり、株価が顕著に上昇しました。

成長期待の裏には、中心となる企業が同じで安定していることや、半導体の生産さえ増えれば成長するというイメージがあり、目に見えるリスクが見当たらない状況でした。

しかし、いくつかの具体的なリスクが明らかになっています。業界としての長期的成長は揺るぎないと考えますが、株式市場では短期的に上昇を抑える要因になるかもしれません。

まず、もともと少数の企業への集中リスクとして、主力企業の経営の失敗や開示ミスなどスキャンダル・リスクが考えられてきました。

しかし、このところAIを主導する企業の技術革新による競争が激化しています。技術革新が、AI・半導体分野で勝ち組を変えるかもしれません。

これは長期的には業界を成長させる競争を呼び起こすのですが、勝ち組が明確になるまで市場が短期的に模様眺めに陥るリスクもあります。

また、半導体生産が拡大しても、データセンターへの電力供給やその他施設が不足する可能性が見えてきました。供給不足は売上成長のスピードを遅くするリスクにつながります。

AIは生成AIからAIエージェント、さらに高度なロボットであるフィジカルAIへと発展していく途上にあり、長期的な成長への疑いが出てきているように見えません。しかし短期的な高成長への疑いは、今年よりも来年に増える可能性があります。

収益環境が変わらなくとも、リスクが株価に反映されて上昇率が穏やかになる可能性はありそうです。

(アモーヴァ・アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹)

※2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社はアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更しました。

《本資料は執筆者の見解を記したものであり、当社としての見通しとは必ずしも一致しません。本資料のデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》